

場の記憶・からだの記憶

非文字資料研究の 新地平

- セッションI 「マルチ言語版『日本常民生活絵引』の編集刊行」
- セッションII 「租界、神社の遺跡から過去の実態を読み解く試み」
- セッションIII 「インターネット・エコミュージアムの可能性—地域研究と情報学の連携—」
- セッションIV 「身体技法および感性の資料化と体系化」
- セッションV 「身体技法を展示する」

※日・英同時通訳

キリトリ線

POST CARD

2 2 1 8 6 8 6

50円切手を貼って
投函してください

横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学COE事務局 行

キリトリ線



場の記憶・からだの記憶

非文字資料研究の 新地平

2008年

2月23日(土) 10:00 ~ 17:40 / 24日(日) 10:00 ~ 17:45

会場: 神奈川大学横浜キャンパスセレストホール
(400人収容)

参加無料

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学COE事務局

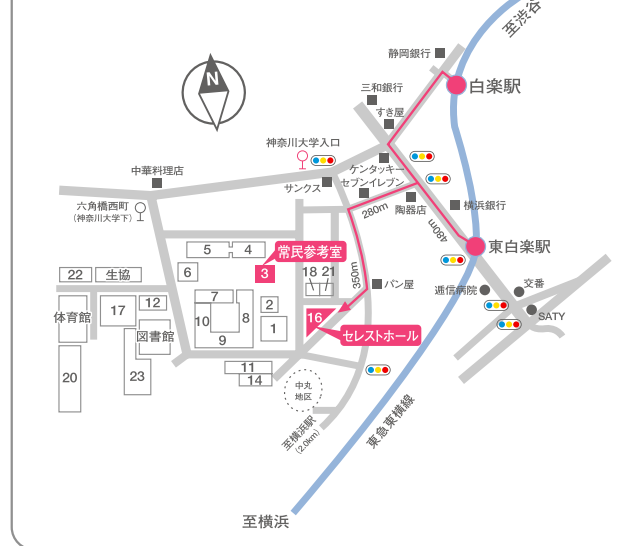
TEL 045-481-5661 内線3532

FAX 045-491-0659

E-mail himoji-coe@kanagawa-u.ac.jp

URL <http://www.himoji.jp>

アクセスマップ



交通のご案内

- 東急東横線「白楽」駅下車 徒歩13分
- 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスをご利用の場合
〔1番乗り場〕36系統(菅田町または緑車庫行)で「神奈川大学入口」下車 徒歩5分
〔1番乗り場〕82系統(八反橋または神大寺入口行)で
「神奈川大学入口」下車 徒歩5分
- 駐車場がありませんので、お車での来場はご遠慮願います。

KUJ 第3回 神奈川大学COE国際シンポジウム



Memories Inscribed in Places and the Body :
New Horizons in the Study of Nonwritten Cultural Materials



企画展示
「あるく—身体の記憶—」
場 所: 3号館 常民参考室
開催時間: 10:00~18:00

主催 神奈川大学21世紀COEプログラム
「人類文化研究のための非文字資料の体系化」



第1日目 2月23日(土)

9:30～10:00 受付 セレストホール

<総合司会> 西和夫 (神奈川大学教授・COEサブリーター)
 10:00～10:05 開会挨拶 中島三千男 (神奈川大学長)
 10:05～10:20 主催者挨拶 福田アジオ (神奈川大学教授・COE拠点リーダー)

10:20～11:40

セッションⅠ「マルチ言語版『日本常民生活絵引』の編纂刊行」

<コーディネーター>

●前田禎彦 (神奈川大学准教授・COE事業推進担当者)

<パネリスト>

①前田禎彦

「オリジナル版『生活絵引』の編纂とその意義」

②君康道 (東京大学大学院総合文化研究科講師・COE共同研究員)

「マルチ言語版『生活絵引』の編纂とその意義」

<コメンテーター>

①韓東洙 (韓国、漢陽大学校建築大学教授)

②クリスティーナ・ラフィン (カナダ、プリティッシュコロンビア大学助教授)

12:50～14:40

セッションⅡ「租界、神社の遺跡から過去の実態を読み解く試み」

<コーディネーター>

●大里浩秋 (神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

<パネリスト>

①富井正憲 (神奈川大学助教・COE共同研究員)

「旧在華企業の居住環境－公大紡績住宅を中心に」

②孫安石 (神奈川大学准教授・COE事業推進担当者)

「漢口日本租界と日本人－菊地洋氏の資料を中心に」

③津田良樹 (神奈川大学助手・COE共同研究員)

「旧満洲国における神社のありよう」

④三鬼清一郎 (元神奈川大学教授・COE共同研究員)

「倭城と近世城郭」

<コメンテーター>

①李百浩 (中国、武漢理工大学教授・武漢理工大学土木工と建築学院院長)

②蔡錦堂 (台湾、国立台湾師範大学副教授・台湾史研究所所長)

14:55～16:55

セッションⅢ「インターネット・エコミュージアムの可能性 －地域研究と情報学の連携－」

<コーディネーター>

●佐野賢治 (神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

<事例報告>

●小野博 (コンテンツ(株))

「福島県只見町におけるインターネット・エコミュージアム」

<パネリスト>

①佐野賢治

「非文字資料と地域社会

－地域統合情報発信システムとしてのインターネット・エコミュージアム－」

木下宏揚 (神奈川大学教授・COE共同研究員)

「地域情報の統合化－民具データを事例にして－」

②朽木量 (千葉商科大学准教授)

「地域を博物館にすること－記憶という地域文化資産－」

③柴山守 (京都大学教授、京都大学東南アジア研究所副所長)

「地域情報学の創出－ハノイ都市形成研究を事例にして－」

<コメンテーター>

①尹紹亭 (中国、雲南大学教授)

「中国文化生態村の構想と実際から」

②任章赫 (韓国、韓国中央大学校副教授・文化財庁文化専門委員)

「韓国民俗村の実績と可能性から」

16:55～17:35 質疑応答

17:35～17:40 閉会挨拶

第2日目 2月24日(日)

9:30～10:00 受付 セレストホール

<総合司会> 田上繁 (神奈川大学教授・COE事務局長)

10:00～11:30

セッションⅣ「身体技法および感性の資料化と体系化」

<コーディネーター>

●廣田律子 (神奈川大学教授・COE事業推進担当者)

<パネリスト>

①川田順造 (元神奈川大学教授・COE共同研究員)

「身体技法および感性の体系的資料化へ向けて」

②廣田律子

海賀孝明 ((株)わらび座チーフエンジニア・COE調査研究協力者)

「モーションキャプチャ技術と身体技法」

③渡部信一 (東北大学教授)

「民俗芸能の『わざ』はデジタルで伝わるのか？」

<コメンテーター>

①アルベール・ピアンヴニユ・アコハ (アフリカ、アボメ＝カラヴィ大学教授)

②中村美奈子 (お茶の水女子大学准教授)

③小島一成 (神奈川工科大学准教授)

13:00～14:10

セッションⅤ「身体技法を展示する」

<コーディネーター>

●中村ひろ子 (神奈川大学COE教員)

<パネリスト>

①中村ひろ子

「展示をつくるⅠ－研究成果発信装置としての可能性－」

②青木俊也 (松戸市立博物館学芸員・神奈川大学COE教員)

「展示をつくるⅡ－『あるく 身体記憶』の実験－」

<コメンテーター>

①笹原亮二 (国立民族学博物館准教授)

②村井良子 ((有)プランニング・ラボ代表取締役)

14:20～15:20 質疑応答

15:40～17:40 総合討論 前半 国際シンポジウムのまとめ

<司会> 佐野賢治

後半 COEプログラム全体についてのまとめ

<司会> 橋川俊忠 (神奈川大学教授・COEサブリーター)

17:40～17:45 閉会挨拶

プログラムの内容については変更になる場合もございます。



場の記憶・からだの記憶

非文字資料研究の 新地平

神奈川大学21世紀COEプログラム
「人類文化研究のための非文字資料の体系化」

2008年 2月8日(金)必着
FAX:045-491-0659

参加ご希望の方は、ご記入の上、
E-mail、ハガキまたはFAXにて
お申し込みください。

※申込期日以降はCOEの事務局までお問い合わせ下さい。

第3回 神奈川大学COE国際シンポジウム

参加申込書

ふりがな	-----		
ご氏名	-----		
ご住所	〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>
		都道	府県
TEL	()	-	
所属機関名	-----		
参加希望日に <input checked="" type="checkbox"/> チェックしてください。			
2月23日(土) <input type="checkbox"/>		2月24日(日) <input type="checkbox"/>	
記載された個人情報は注意をもって管理し、シンポジウムの円滑な運営のために活用させていただきます。(COE関連のご案内等で活用することもあります。)			